

東芝照明プレジジョン株式会社 新潟事業所 サイトレポート情報

所在地	新潟県長岡市東川口1979番地26
敷地面積	12,839m ² 、建家面積: 5,275m ² 、緑化率 21%
設立	1969年4月、従業員:71人(2014年3月現在)
主要製品	二次電池部品、蛍光灯口金、各種金属部品
ISO14001認証取得	1999年5月、最新更新年月:2014年5月 (ISO認証番号:E1102)



ごあいさつ

東芝照明プレジジョン（株）新潟事業所は、中越地域の中央部に位置し、魚野川と信濃川が合流する水と山と緑豊かな自然環境に恵まれた立地条件の中で事業を展開しています。事業所では、二次電池部品、蛍光灯口金、各種金属部品などを製造しており、環境保全活動にも従業員一丸となって取り組んでいます。

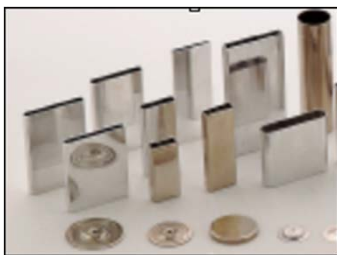


環境保全責任者 景本 英司

2013年度の環境の主な取組み

- ☆ISO14001環境マネジメントシステム
1999年5月に認証取得、2014年2月に更新審査を実施
- ☆環境保全設備の改善と管理の向上
洗浄液の洗浄負荷軽減対策(使用量削減施策)、高効率タイプ空調機への更新(省エネ施策)
- ☆環境保全体制の充実
法令、条例の順守、現場管理の強化。
- ☆CO₂排出量の削減
CO₂排出量生産高原単位を2013年度の目標(16.6t-CO₂/億円)に対して実績(16.3t-CO₂/億円)
- ☆廃棄物ゼロエミッションの継続
廃棄物総発生量原単位を2013年度の目標(39.9t/億円)に対して実績(39.6t/億円)
最終処分率 0.03%
- ☆全員参加・啓蒙活動の展開
地域の清掃活動、150万本の森づくり(長岡市)、安全環境ニュースによる啓蒙活動

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介



二次電池部品



蛍光灯・電球口金部品



各種金属部品

東芝照明プレジジョン(株) 環境方針

東芝照明プレジジョン(株)は、福島県福島市に福島事業所、新潟県長岡市に新潟事業所、神奈川県川崎市に川崎事務所を置き、事業所及び工場は阿武隈川、信濃川の清流に隣接し、水と山と緑豊かな自然環境に恵まれた場所に立地している。一方、川崎事務所は東京都との境を流れる多摩川の恵みを受けた、「世界的な先端産業都市」で営業活動を行なっている。

「かけがえのない地球」環境を健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、事業を展開する我々の基本責務」との認識に立って、東芝グループの環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ることで持続可能な社会へ貢献します。

1. 環境保全の取組みを会社経営の最重要課題の一つとして位置付け、経済と調和させた環境活動を推進します。
2. 事業活動、製品・サービスに関わる環境側面について、生物多様性を含む環境影響を評価し、環境汚染の予防に努めます。
3. ISO14001 規格に適合した環境マネジメントシステムを構築し、積極的な環境施策の展開により、環境経営の継続的な改善を図ります。
4. 法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守し、必要により自主基準を制定し、環境活動に取組みます。
5. 当社製品は開発設計の段階より参画し、製品を構成する個々部品の省資源・リサイクル性・省エネルギーなどを考慮し、環境への配慮を部品自体に付加して提供する。
6. 当社が行なう事業活動が環境に与える影響の中で、特に以下の項目について、優先的に環境保全活動を推進する。
 - (1) 地球温暖化防止のために、製造設備の運転管理の徹底、設備改善などにより、電気及び燃料について省エネルギーを推進する。
 - (2) 水質・騒音などに関わる施設の管理の徹底と設備の改善を行ない、環境に与える影響を最小にすると共に、事故の予防に努め、その訓練を行なう。
 - (3) 限りある天然資源を守るために、樹脂・金属などの廃棄物の分別の徹底を図り、産業廃棄物の削減を推進し、「ゼロエミッション」の継続及び循環型社会に貢献する。
 - (4) 環境に負荷を与える化学物質は、徹底した管理を行なうと共に、代替への転換、削減、回収、などを行なう。
7. 取引先への環境保全の要請を行うと共に、地域会社への配慮を通して、取引先や地域社会との協調・連携を図る。
8. 従業員の環境意識をより高め、全員で取り組みます。またグローバル企業として積極的な情報開示とコミュニケーションを行い、東芝グループと一体となった環境活動を推進します。

2013年 4月1日
東芝照明プレジジョン株式会社

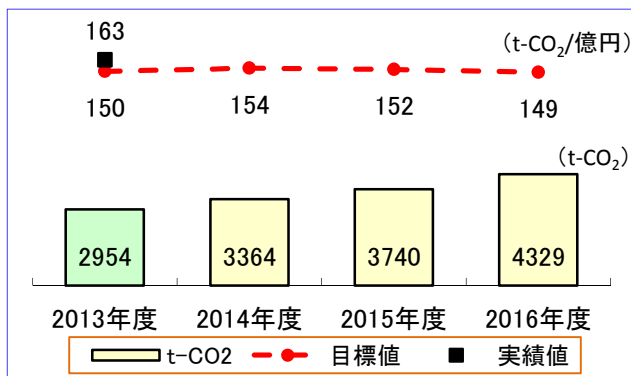
岩田 達一

環境目的・目標

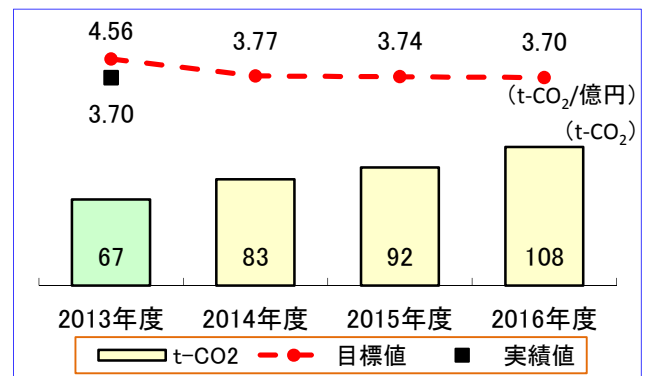
取組み項目		2014年度	2015年度	2016年度
地球温暖化防止	エネ起源CO ₂ 総排出量原単位の改善(t-CO ₂ /億円)	154	152	149
	物流CO ₂ 総排出量原単位の改善(t-CO ₂ /億円)	3.77	3.74	3.70
資源有効活用	廃棄物総発生量原単位の改善(t/億円)	39.2	38.8	38.4
	最終処分率の管理(%)	<0.5	<0.5	<0.5
	水受入量原単位の改善(千m ³ /億円)	1.43	1.41	1.40
化学物質管理	取扱量原単位の改善(t/億円)	—	—	—
生物多様性	生物多様性の推進	ビオトープ整備	希少種の観察	パフォーマンスの向上

環境負荷データ

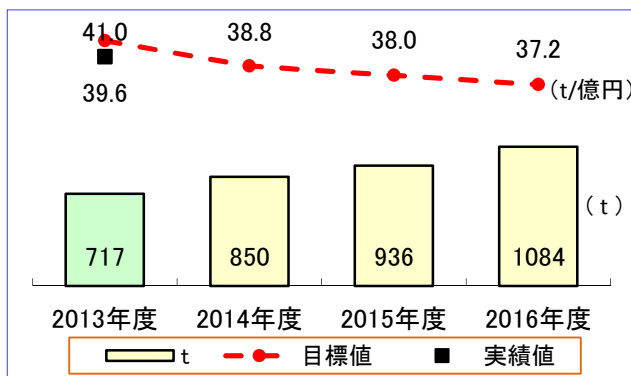
エネ起源CO₂



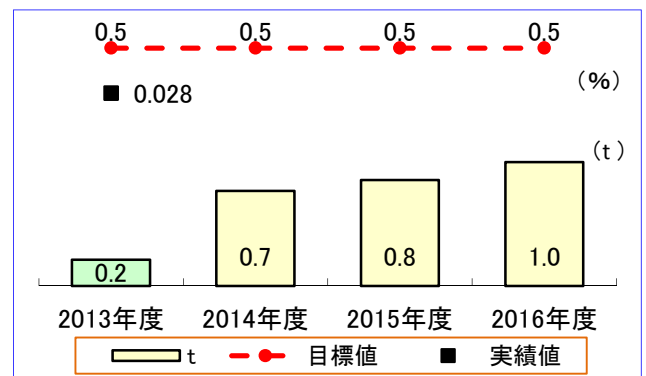
物流CO₂



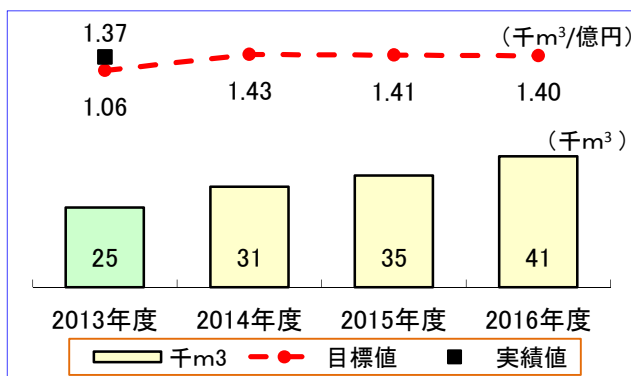
廃棄物総発生量



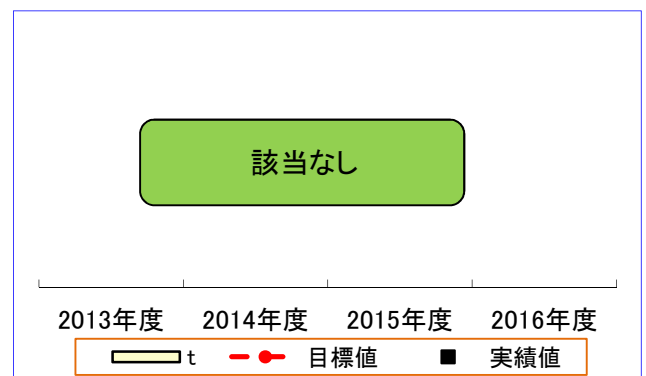
最終処分率



水受入量



化学物質取扱量



コミュニケーションの紹介

<ダウンライトキャンペーン>

6月5日の環境の日に合わせ東芝グループグローバルで一斉に実施した「環境一斉アクション」に参加し、事業所の看板や従業員世帯において消灯を実施しました。

(実施概要)

- ・日時:2013年6月5日 19:30-20:30
- ・事業所の広告看板消灯(4kwhのCO₂削減)



<事業所周辺の清掃活動>

当事業所では、毎年、環境月間に合わせ事業所周辺の清掃活動を実施しています。今後も地域活動の一環として、継続していく予定です。

(実施概要)

- ・日時:2013年6月19日
- ・参加人数:45名
- ・その他(25kgの廃棄物を回収)



<東芝150万本の森づくり>

新潟県内のグループ会社と協力して、新潟県長岡市の「川口運動公園」のファミリーゴルフ跡地で植林活動を実施しています。新潟県では、平成26年春季に『第65回全国植樹祭』が開催される予定となっており、今回は『第65回全国植樹祭プレイベントにいがた2014』として合わせて開催されました。

(実施概要)

- ・日時:2013年6月16日
- ・参加人数:20人(全体では118人)
- ・その他(スギ・ヒノキ1500本の植林を実施)



生物多様性の取組み

指標種の選定

指標生物	指標生物の希少性
ギフチョウ	準絶滅危惧
ミヤマシジミ	絶滅危惧II類

ビオトープの概要



事業所の立地環境

- ・信濃川水系の魚野川流域に立地。
- ・敷地面積：12,000m²、緑化率：21%。
- ・魚野川と山間部に挟まれた平地であり水辺は豊富。
- ・周囲は山であり、近くに運動公園など緑地も多い。
- ・中小の寺社が散在しており在来の飛来生物も多いと推測。

< 蝶の生態系ネットワーク構築 >

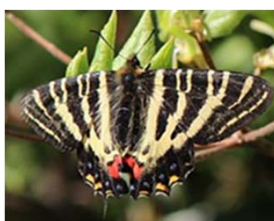
- ・緑地の一角にアゲハ幼虫の避難場所を設けて工場を中心としたアゲハチョウ生態系ネットワーク構築
- ・アゲハチョウの他に、地域固有の蝶の呼び込み
⇒魚野川、河合神社、蒼丘の森公園など周辺に生息する蝶を狙って食草を置く（ユズ、サンショウなど）



アゲハチョウ



ミヤマシジミ



ギフチョウ



サンショウ